

九州周遊 建築散歩

第七回(11月22日)
久留米探索

福岡県南部の城下町「久留米」の 建築と文化を探索しましょう。

第7回目の「九州周遊建築散歩」は、福岡県南部に位置する久留米市の町並みを見学したいと思います。
久留米絨やゴム産業などの地場産業とともに発展した城下町久留米は、日本を代表する画家青木繁や建築家菊竹清訓を輩出するなど文化の発祥地でもあります。
今回は、久留米の文化を感じながら建築を探索したいと思います。散歩のつもりで気楽に参加してみませんか？



左：久留米市役所 上：徳雲寺納骨堂

見学予定箇所

久留米市庁舎(1994:菊竹清訓)
久留米市民会館(1969:菊竹清訓)
徳雲寺納骨堂(1965:菊竹清訓)
久留米教育会館(1926)
石橋迎賓館(1933)
みずほ銀行久留米支店(1925)
青木繁旧邸
旧金文堂本店
水天宮
雪の聖母聖堂(1896:聖マリア病院内)

菊竹清訓 (1928 -)

久留米に生まれた菊竹清訓は、早稲田大学在学中から数々のコンペで入賞を重ねているが、その中でも「広島平和記念カトリック聖堂」のコンペ3等は当時の建築界の注目を集めた。その後、1958年に実験住宅である自邸「スカイハウス」を計画、1959年には「海上都市」「搭状都市」を『国際建築』誌上に発表し、世界的にも注目を浴びることになる。また、1960年にはメタボリズム・グループを結成し世界デザイン会議に出席、1962年にはチームX第2回会議に丹下健三、槇文彦とともに招かれるなど、その世界的な活躍は日本の近代建築を語る上で欠かせない。
現在でも世界中で活躍し、磯崎新や黒川紀章と並び日本を代表する建築家である。

教会と銀行

九州には明治から昭和にかけて建てられたカトリックの教会堂(天主堂)が、今でも人々の祈りの場・神の家として生き続けている。
また同時期に建設された銀行には重厚で格式の高い建物が多く、当時の銀行の権威を伺うことができる。



右：雪の聖母聖堂
下：みずほ銀行久留米支店



「九州周遊建築散歩」では次回以降も様々な地域の建築を散策します。分野や専門にかかわらず建築に興味がある方は是非ご連絡下さい。

連絡先：北九州大学国際環境工学部N3 3 31 (内2397)
代表：D1小川由美子 (d3640101@hibikino.ne.jp)
事務局：M1大野敦弘 (m3640101@hibikino.ne.jp)

<写真・文章>

ふるさと情報ふくおか <http://www.fmw.or.jp/city/005/>
都市散歩 <http://r-10-web.hp.infoseek.co.jp/>
福岡県久留米市観光案内サービス http://www.kttnet.co.jp/kurume-kanko/sutudio_forest <http://www.bunbun.ne.jp/~nakayama/x-home.htm>
天主堂巡礼 <http://www.ne.jp/asahi/oda/kaze/atensyu.htm#tensyudo>
菊竹清訓建築設計事務所 <http://www.kikutake.co.jp/top/top.html>